

地球惑星科学委員会 地球惑星科学企画分科会（第24期・6回）議事録

日時 平成30年10月2日（火曜）13:00-15:00

場所 日本学術会議5階 5-C（1）会議室

出席者 藤井、田近、木村（学）、高橋（圭）、春山、中村（卓）、川幡、西山、大谷（スカイプ参加）

欠席者 中村（尚）

議事録

1. 前回議事録案を確認し承認した。
2. 大型研究計画のヒアリングについて

次回の地球惑星科学委員会開催日程を12月23日から25日を主に調整することを議論し、地球惑星科学委員会委員全員に出欠可能か日程調査をすることとした。第2回目の大型研究計画のヒアリングを行うこととした。開催場所は学術会議で会場が確保できない場合は、東大地震研究所、もしくは東大理学部の教室を使用することを視野に入れて考える。なお、人材育成分科会、国際連携分科会、地球惑星圏分科会も地球惑星科学委員会に合わせて開催にする予定である。

大型研究計画のヒアリング対象については、1. 第一回目のヒアリング対象者（前回重点大型研究計画に入った計画を含む）、2. 新規課題提案者とする。

大型研究計画の申請にあたり、研究課題を統合化してより広領域としていくことの妥当性、現実性を議論した。できうる限り統合していくという従来の方針は踏襲することとし、この点を再度確認し広く周知することとした。なお、いくつかの提案を統合する場合、単に規模を大きくすることより、内容的にあるいは質的に付加価値がついてより優れた研究となることが重要である。

また、大型研究計画申請にあたり、日本学術会議から公表されている策定方針（案）—要請にもあるとおり、各提案グループが所属するサイエンスコミュニティーの合意形成の上に提案される必要がある。具体的には、学問の観点からは所属する学協会での合意、実行の観点からは所属の機関長（場合によっては研究科長）の承認を取るよう申請者に依頼することにした。

第二回目の大型研究計画のヒアリング予定等について、前回応募したグループに対しては地球惑星科学委員会から直接連絡を行う。新規課題については、情報をゆきわたらせる必要があるので、地球惑星科学委員会から日本地球惑星科学連合を通じて加盟学協会に伝達する。

3. 夢ロードマップについて

9月に5セッション代表者から提出された夢ロードマップは、5分野分をまとめて現在各セッションに戻しており、地球惑星科学分野全体をみわたした上で各セッション

の記載を再確認していただき、10月12日までに、各セクションから修正案の提供を求めることになっている。とくに、宇宙惑星科学セクションの夢ロードマップは他4セクションと記載手法や内容がかなり異なること、地球生命科学セクションは地球惑星科学全体をまとめたような形になっていて地球生命科学独自の計画が何なのかが分かりにくいため、代表者に修正を求めることにした。

さらに、地球惑星科学分野全体に共通する課題やデータサイエンスなどに関する6枚目のロードマップを作成することにする。

4. 2019年JPGUのユニオンセッションの計画について

大型研究計画の公開ヒアリングを行うこととし、藤井委員長、田近副委員がコンビーナーとして計画案を作成することとした。ユニオンセッションの冒頭で、全体像、基本方針、スケジュール、他分野の動向などに関する情報をコミュニティに伝達し、他分野からもサポートを受けられるような質の高い大型研究提案がコミュニティ全体で作れるようにサポートすることとする。さらに、大型研究とかかわりあう夢ロードマップを紹介することにした。

5. その他

日本学術会議の会議予算が逼迫している現況を考え、今後の会議開催予定について議論したが、この件については各分科会に一任することにした。

JpGU で開催予定の学協会長会議が10月5日(金)に予定されており、大型研究計画や夢ロードマップなどに関する報告などを行うことを考えている。

以上